



# 文章デザインの基礎 (2) ～印象編～

## 1. 今回の話題

### 1.1. 今回は

1.1.1. 前回に引き続き

1.1.2. Web記事を書く時に

1.1.2.1. 押さえておきたい

1.1.3. 文章デザインの10の基礎ポイントのうち

1.1.4. 文章の「印象」に関連する

1.1.4.1. 5つのポイントをご紹介します

### 1.2. この動画までをみれば

1.2.1. Web記事において相応しい

1.2.2. 「読みやすい文章」の基礎が

1.2.3. 習得できます

1.2.4. それでは説明していきます

## 2. まとめ

### 2.1. ここまで

2.1.1. 2回の動画にわたって

2.1.1.1. Web記事における

2.1.2. 読みやすい・伝わりやすい文章の

2.1.2.1. 文章デザインの基礎を

2.1.3. 学んできました

### 2.2. より

2.2.1. Web記事として

2.2.2. 相応しく

2.2.2.1. 分かりやすい文章を

2.2.3. 書く方法が分かってきたと思います

### 2.3. ぜひ

2.3.1. 前回と今回でご紹介した

2.3.1.1. 10のポイントは

2.3.2. 執筆時に

2.3.2.1. ちゃんと読みやすい文章になっているかな？

2.3.2.2. と確認するチェック項目としても

2.3.3. 使ってみてくださいね

### 3. 伝わりやすい文章の書き方：10のポイント（後編）

3.1. 語尾は断言する

3.1.1. Web記事では

3.1.2. 信頼してもらえ文章を書かなければいけません

3.1.3. 例えば

3.1.3.1. 次の文章が書かれている記事のうち

3.1.3.2. どちらの記事を参考にしますか？

3.1.3.3. このサービスを使えば、あなたにぴったりの転職先が見つかるかもしれません。

3.1.3.4. このサービスを使えば、あなたにぴったりの転職先が見つかります。なぜなら...（理由の説明が続く）

3.1.3.5. きっと

3.1.3.5.1. 後者の記事を

3.1.3.5.2. 参考にしますよね

3.1.4. このように

3.1.4.1. 「～かもしれません」

3.1.4.2. 「～だと思えます」

3.1.4.3. などの曖昧な表現は避けて

3.1.4.4. 「です」「ます」

3.1.4.5. などの断定の語尾を使いましょう

3.1.4.6. しかし

3.1.4.6.1. もちろん

3.1.4.6.1.1. 信頼性を高めるためには

3.1.4.6.2. 自信を持って断定できるように

3.1.4.6.2.1. 確かな・正しい情報を書くことが大事です

3.1.4.6.2.2. 先程の例で言うと

3.1.4.6.2.2.1. 「あなたにぴったりの転職先が見つかります」と言い切った後に

3.1.4.6.2.2.2. なぜなら...と理由（根拠）の説明がありました

3.1.4.6.3. まずは

3.1.4.6.3.1. リサーチと根拠に基づいた

3.1.4.6.3.2. 確かな情報を集めて

3.1.4.6.3.3. 断定しましょう

3.2. 不要な横文字（難しい言葉）は使わない

3.2.1. Webライティングで

3.2.1.1. 重要なのは

3.2.1.2. いかに読みやすく・分かりやすい文章を書くか

3.2.1.2.1. です

3.2.2. そのため

3.2.2.1. 不要な横文字や専門用語などは避けて

3.2.2.1.1. 例：プロフィット・コミット・アウトプット・スキーム等の

3.2.2.1.2. 不要なビジネス用語も

3.2.2.1.2.1. 親しみのある

3.2.2.1.2.2. 日本語の言葉に言い換えましょう

3.2.2.2. 基本的には

3.2.2.2.1. 「中学生でもスラスラ理解できるレベル」の文章を

3.2.2.2.2. 目指しましょう

3.2.2.2.3. ただ

3.2.2.2.3.1. 例えば

3.2.2.2.3.2. KWが「クラファン リターン」などの

3.2.2.2.3.3. 読み手のターゲットが

3.2.2.2.3.3.1. ある程度その分野に関して

3.2.2.2.3.3.2. 前提知識がありそうな場合は

3.2.2.2.3.3.3. 敢えて「リターン」を「利益率」などと

3.2.2.2.3.3.4. 無理やり直す必要はありません

3.2.2.2.3.4. 大事なものは

3.2.2.2.3.4.1. あくまで

3.2.2.2.3.4.2. 読み手のレベルに合わせた文章を書く

3.2.2.2.3.4.3. ということです

3.3. 「！」 「?!」を使いすぎない

3.3.1. Web記事では

3.3.2. 「！」や「?!」を使いすぎないようにしましょう

3.3.3. 例えば

3.3.3.1. 次の文章を見てみましょう

3.3.3.2. 転職したいと思っているあなたにおすすめのが「〇〇（転職サイト名）」です！

3.3.3.3. 〇〇は業界大手なので、たくさんの転職先が見つかります！

3.3.3.4. 皆さんも、ぜひ登録してみてくださいはいかがでしょう？！

3.3.4. このように

3.3.4.1. 「！」や「?!」をたくさん使いすぎると

3.3.4.2. どの文章を強調したいのか分からなかったり

3.3.4.3. カジュアルすぎる印象を与えたり

3.3.4.4. します

3.4. 口語は使わない

3.4.1. Web記事では

3.4.1.1. 信頼性を高める

3.4.1.1.1. = 「ちゃんとした記事だな」と感じてもらう

3.4.1.2. ことが大事ですので

3.4.1.2.1. カジュアルすぎる口語文は避けましょう

3.4.2. 例えば

3.4.2.1. 「ですよね」

3.4.2.2. 「なんです」

3.4.2.3. 「できちゃいます」

3.4.2.4. 「って」

3.4.2.5. などは使わないようにしましょう

3.5. PREP法を活用する

3.5.1. PREP法とは

3.5.1.1. 物事を分かりやすく・論理的に伝えたい時に

3.5.1.2. 役立つフレームワークで

3.5.1.3. Point : 要点・結論

3.5.1.4. Reason : 根拠

3.5.1.5. Example：具体例

3.5.1.6. Point：要点・結論

3.5.1.7. の順番で説明する方法です

### 3.5.2. 例えば

3.5.2.1. 次の文章ではPREP法が活用されています

3.5.2.2. 結論：しっかり稼げるWebライターになりたいなら、Webライティング講座を受けるべきです

3.5.2.3. 根拠：特別な資格が要らなくて参入しやすい業界なので、しっかり稼ぐには差別化が必要だからです

3.5.2.4. 具体例：実際、Webライターの仕事の幅は広く、能力に応じて文字単価も0.1～5円と何十倍も変わってきます

3.5.2.5. 結論：したがって、しっかり稼ぎたいならWebライティング講座を受けるべきなのです

### 3.5.3. このように

3.5.3.1. 結論→根拠→具体例→結論

3.5.3.2. の順番を徹底することで

3.5.3.3. 物事を論理的に伝えられるため

3.5.3.4. 分かりやすく説得力のある記事になる

3.5.3.5. という訳です